

電子メールでの提出時、機構より自動配信にて【受信完了のご連絡】メールが届きます。宛先のアドレス間違いもなく自動配信メールが届かない場合には、提出期限（時刻）までにその旨をお電話で03-5226-6608まで必ずご連絡くださいますようお願い致します。提出期限までにご連絡がなく、機構がプロポーザルを受信できていなかった場合は、該当のプロポーザルは評価対象と致しかねます。

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出5営業日前までに所定の競争参加資格審査申請書の提出が必要です。

- ◇ 評価結果の通知：2023年4月21日(金)までに個別通知
提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
- ① 業務実施の基本方針 16点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制 4点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
- ① 類似業務の経験 40点
 - ② 対象国・地域での業務経験 8点
 - ③ 語学力 16点
 - ④ その他学位、資格等 16点
- (計 100 点)

類似業務経験の分野	上水道技術に係る各種調査
対象国及び類似地域	バングラデシュ及び全途上国
語学の種類	英語

- * 語学の証明書に関しまして、TOEIC の IP テストによるスコアレポートも可とした暫定運用は 2022 年 9 月末にて終了していますので、ご注意ください。なお、CASEC や JICA 専門家検定による認定書は、従来より認定の対象外となっていますので、提出（添付）いただく必要はありません。

(詳細：https://www.jica.go.jp/announce/information/20220118_02.html)

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

バングラデシュでは安全な水の安定的な供給が十分に行われておらず、2020年時点で安全に管理された飲料水へのアクセス率は都市部で 52.8%、地方部で 62.0%となっており、管路給水率は都市部で 35.7%、地方部で 2.8%に留まっている（WHO and UNICEF, 2021）。また、飲料水の 90%を地下水に依存しているが、ヒ素汚染や糞便汚染、塩水遡上や過度な汲み上げによる地下水位低下などの問題を抱えており、表流水をはじめとする代替水源の確保が喫緊の課題となっている。バングラデシュは「第 8 次五か年計画」（2021/22-2025/26 年度）において、安全な水と衛生を優先課題に掲げ、2025 年までに安全に管理された飲料水へのアクセス率を全人口の 75%、都市部人口の 100%とすることを目標としている。

バングラデシュ最大の商工業都市であるチョットグラム市（人口約 320 万人、面積約 155 km²）は、国内最大の港であるチョットグラム港を有し、バングラデシュの貿易の主要都市である。チョットグラム市の水道は、チョットグラム上下水道公社（Chattogram Water Supply and Sewerage Authority。以下、「CWASA」）によって運営されているが、人口は年々増加傾向にあり、水道を始めとする基礎インフラの整備が都市の拡大に追い付いていない。CWASA はこれに対し、円借款「カルナフリ上水道整備事業（Karnaphuli Water Supply Project 以下、「KWSP-1」）及び「カルナフリ上水道整備事業フェーズ 2（Karnaphuli Water Supply Project Phase-2 以下、「KWSP-2」）」を実施し、浄水場の新設・拡張、配水池の新設、送配水管の新設などにより給水量増加を図っている。2023 年に KWSP-2 及び韓国支援による浄水場が完成すれば、CWASA による給水量は 56 万 m³/日となり、ほぼ需要と釣り合うことが見込まれる。その一方で、2030 年の水需要予測は 100 万 m³/日となっているが、長期的視点に立った施設整備計画や事業戦略が存在せず、施設整備や技術力向上は開発プロジェクト頼みとなっている。また、給水施設を運転・維持管理するための職員の技術力は低く、2020 年に承認された職位のうち 47%が欠員となっているなど十分に水道サービスが提供できる事業運営体制は整備されていない。また、水道料金は徐々に値上げを実施しているが、2022 年現在約 19 円/m³ と非常に安価であり、持続的な事業運営に必要な財務管理能力や事業戦略策定能力に課題がある。これまでの円借款附帯プロジェクトにおいて無収水削減や組織体制の改善などの活動を実施しているが、プロジェクトが途中で終了したことにより、無収水削減計画が策定されず、場当たりの対応となっているなど、自立的で持続的な水道事業運営には課題が多い。また、稼働しているバングラデシュの上下水道公社（WASA）は全国に 4 つあり、地方行政・農村開発協同組合省の地方行政総局が管轄しているが、同局が WASA の統括として機能しておらず、上下水道にかかる政策、戦略、技術

指針などが存在しない。そのため、WASA 間の連携や技術の共有がなされていない。

上記の現状を踏まえ、バングラデシュ政府は CWASA の給水サービスを改善するための「チョットグラム上下水道公社経営改善プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）を我が国に要請した。要請内容は、CWASA による給水事業経営能力向上を目的として、事業戦略策定、財務管理能力向上、無収水削減計画策定、顧客コミュニケーションの促進などへの支援である。

本詳細計画策定調査は、CWASA 並びに関係諸機関と協議のうえ、CWASA の技術面および経営面での能力を確認し、プロジェクトの実施体制を検討するための情報を分析・整理したうえで、プロジェクトの実施体制及び活動内容について確認・協議し、プロジェクトに関わる合意文書締結を行うものである。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握のうえ、他の業務従事者や調査団員として派遣される JICA 職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2023年5月中旬～2023年5月下旬）

- ① 要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析により要請背景・内容を把握する。
- ② CWASA に対する我が国及び他援助機関のこれまでの協力状況・成果・課題を確認し、教訓や本プロジェクト実施にあたっての留意点を検討する。
- ③ 現地調査で収集すべき情報を検討し、バングラデシュ側関係機関や他援助機関等に対する質問票（案）（英文）を作成する。その際、別途派遣される他分野の団員と内容が重複しないよう適宜調整し、作成した質問票（案）は、現地派遣前に JICA に提出する。
- ④ プロジェクトの PDM (Project Design Matrix) 案、PO (Plan of Operations) 案（いずれも和文・英文）、事業事前評価表案（和文）の担当分野関連部分を検討する。
- ⑤ JICA による調査対処方針（案）の作成に協力する。
- ⑥ 調査団内の打合せ、対処方針会議等に参加する。

（2）現地業務期間（2023年5月下旬～2023年6月中旬）

- ① JICA バングラデシュ事務所等との打合せに参加する。

- ② バングラデシュ側関係機関との協議及び現地調査に参加し、調査の目的・方法・手順等について説明を行う。また、他団員による取りまとめに協力し、議事録を作成する。
- ③ 事前に配布した質問票への回答回収や上記②を通じ、担当分野に係る情報・資料を収集し、現状を把握する。具体的には以下のとおり。
 - ア) 先方政府の都市給水に関する関連法案、ガイドライン、マニュアル等
 - イ) CWASA が所有している給水施設に関するガイドライン、マニュアル等の有無、活用状況、活用見込み
 - ウ) CWASA による給水サービス
 - (a) 顧客数
 - (b) 対象給水区域人口
 - (c) 給水率
 - (d) 給水量
 - (e) 水需要量
 - (f) メーター数
 - (g) メーター設置率
 - (h) 無収水率
 - (i) 水質管理体制等
 - エ) CWASA 給水施設の概要
 - オ) CWASA の給水施設運転・維持管理状況と課題
 - カ) CWASA 職員の研修実施・人材育成状況
 - キ) CWASA の無収水対策状況と課題
 - ク) 円借款 KWSP-1 及び KWSP-2 において建設した施設の運転・維持管理状況
 - ケ) 附帯プロジェクト「チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト」により現在の CWASA に持続している成果
 - コ) 附帯プロジェクト「チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト」により現在の CWASA に持続している成果
 - サ) CWASA の他 WASA とのコミュニケーション
 - シ) 担当分野に関して想定される成果指標に関するデータの所在と入手方法
 - ス) DX 技術の活用可能性
 - (a) SCADA の導入・運転・維持管理状況
 - (b) GIS データベースの運用状況
 - (c) 新たな DX 技術導入の可能性

- セ) 気候変動に係る政策と上水道案件におけるリスクの評価
 - (a) 気候変動対策と本プロジェクトの関連性の整理（緩和策に該当する場合、GHG 排出削減量の推計も実施）
 - (b) 乾季の河川の塩水遡上に関する情報収集
- ソ) プロジェクトに必要となる資機材の検討
- ⑥ 調査結果に基づき、本プロジェクトの実施案（プロジェクトの協力期間、実施体制）、討議議事録（R/D：Record of Discussions）を他分野の団員とともに検討する。
- ⑦ 関係者との協議で合意された内容について、R/D（案）（英文）及び協議議事録（M/M：Minutes of Meetings）（案）（英文）の作成に協力する。
- ⑧ 実施機関に対する R/D 案を含む M/M 案への説明に参加し、必要に応じて内容の説明、補足を行う。
- ⑨ 担当分野に係る PDM 案、PO 案、M/M 案の作成に協力する。
- ⑩ 担当分野に係る現地調査結果を JICA バングラデシュ事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間（2023年6月下旬～2023年7月中旬）

- ① 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ② 他団員による取りまとめに協力し、リスク管理チェックシート（案）に必要な情報をまとめる。
- ③ 他団員による取りまとめに協力し、事業事前評価表（案）を作成する。
- ④ 他団員による取りまとめに協力し、担当分野にかかる詳細計画策定調査報告書（案）を作成する。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。

業務完了報告書

2023年7月14日（金）までに提出。

担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）を添付し、電子データをもって提出する。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、以下 URL の「コンサルタント等契約における経理処理ガイドライン（2022年4月-12月追記版）」（以下同じ）

の「Ⅹ. 業務実施契約（単独型）」及び「別添資料 2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。
航空経路は、日本⇄バンコク⇄ダッカを標準とします。
- (2) バングラデシュ国内における宿泊については、安全管理対策上の理由から JICA が宿泊先を指定することとしているため、宿泊料については、4-6号の場合 13,500 円／泊として計上して下さい。また、滞在日数が 30 日又は 60 日を超える場合の逡減は適用しません。
- (3) 新型コロナウイルス感染対策に関連する経費
PCR 検査代及び隔離期間中の待機費用等も必要に応じて適宜、見積書に計上ください。

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境
 - ① 現地業務日程
現地業務期間は 2023 年 5 月 30 日～6 月 19 日を予定しています。
本業務従事者は、JICA の調査団員に 2 週間先行して現地調査の開始を予定しています。
現時点でバングラデシュ出入国時の隔離期間はありません。
 - ② 現地での業務体制
本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。
 - ア) 総括（JICA）
 - イ) 上水道（JICA）
 - ウ) 協力企画（JICA）
 - エ) 財務・水道事業運営（JICA が別途契約するコンサルタント）
 - オ) 給水施設運転・維持管理（本コンサルタント）
 - カ) 評価分析（JICA が別途契約するコンサルタント）
 - ③ 便宜供与内容
JICA バングラデシュ事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。
 - ア) 空港送迎：あり
 - イ) 宿舎手配：あり
 - ウ) 車両借上げ：全行程に対する移動車両の提供（JICA 職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

- エ) 通 訊 備 上 : なし
- オ) 現地日程のアレンジ : JICA が必要に応じアレンジします。なお、JICA 団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。
- カ) 執務スペースの提供 : なし

(2) 参考資料

- ① 本業務に関する以下の資料を JICA 地球環境部水資源グループ水資源第一チームから配付しますので、代表アドレス (gegwt@jica.go.jp) 宛にご連絡ください。
 - ・バングラデシュ「チョットグラム上下水道公社経営改善プロジェクト」案件概要表 (案)
 - ・要請書
- ② 本業務に関する以下の資料が、JICA 図書館のウェブサイトで公開されています。
 - ・「チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト」事業完了報告書
<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000005158.html>
 - ・「チッタゴン上下水道公社無収水削減推進プロジェクト」終了時評価調査報告書
<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000005157.html>
 - ・「チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト」業務進捗報告書 (その2)
<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000027194.html>
 - ・「2020 年度外務事後評価報告書 円借款「カルナフリ上水道整備事業」及び円借款附帯プロジェクト「チッタゴン上下水道公社組織改善・無収水削減推進プロジェクト」」
https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2020_BD-P54_4_f.pdf
 - ・事業事前評価表「カルナフリ上水道整備事業 (フェーズ2)」
https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2012_BD-P73_1_s.pdf
 - ・案件概要表「都市衛生改善アドバイザー」
https://www.jica.go.jp/activities/project_list/knowledge/v4lphn0000057y7-att/2021_051_ban.pdf
 - ・World Bank 2021 “Project Information Document Chattogram Water Supply and Sanitation Project – II”
<https://documents1.worldbank.org/curated/en/310711628851844317/pdf/Concept-Project-Information-Document-PID-Chattogram-Water>

- ③ 本契約に関する以下の資料を JICA 調達・派遣業務部契約第一課にて配付します。配付を希望される方は、専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)宛に、以下のとおりメールをお送りください。

ア) 提供資料：「独立行政法人国際協力機構 サイバーセキュリティ対策に関する規程（2022年4月1日版）」及び「サイバーセキュリティ対策実施細則（2022年4月1日版）」

イ) 提供依頼メール

・ タイトル：「配付依頼：サイバーセキュリティ関連資料」

・ 本 文：以下の同意文を含めてください。

「標記資料を受理した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA バングラデシュ事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に渡航予定の業務従事者を登録してください。
- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」(<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>)の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 本業務については新型コロナウイルスの流行の状況や先方政府側の対応次第で、渡航時期及び業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な渡航開始時期等に関しては JICA と協議の上決定することと致します。

以上

(別紙)

報告書目次案

注) 本目次案は、発注段階での案であるため、最終的な報告書の目次は、調査の結果及び発注者との協議に基づき、最終確定するものとする。

地図・写真・略語表
事業事前評価表（和文・英文）

第1章 調査概要（JICA 作成）

- 1-1 調査の背景
- 1-2 調査目的
- 1-3 調査団構成
- 1-4 調査団日程
- 1-5 主要面談者
- 1-6 調査結果概要（対処方針に対する調査結果）

第2章 プロジェクト実施の背景（経営面）

（財務・水道事業運営団員作成）

- 2-1 バングラデシュ国及びチョットグラム市の自然条件及び社会条件
- 2-2 バングラデシュ国上水道分野に係る政策、法制度、開発計画等
- 2-3 チョットグラム上水道の関連組織
- 2-4 CWASA の組織概要
- 2-5 CWASA の経営戦略・長期計画
- 2-6 CWASA の経営状況
- 2-7 CWASA の顧客サービス状況
- 2-8 他 WASA との連携
- 2-9 プロジェクト実施体制の想定
- 2-10 他援助機関による CWASA への当該分野の協力状況
- 2-11 関連事業の成果及び本プロジェクトとの関連性
- 2-12 バングラデシュ国における当該分野の類似案件と教訓
- 2-13 ジェンダーの視点に立った取り組み導入の可能性
- 2-14 セミナー開催費用、現地傭人雇用費用などの価格帯

第3章 プロジェクト実施の背景（技術面）

（給水施設運転・維持管理団員作成）

- 3-1 バングラデシュ国の都市給水に関する関連法案、ガイドライン、マニュアル等
- 3-2 CWASA が所有する給水施設に関するガイドライン、マニュアル等
- 3-3 CWASA による給水サービス
- 3-4 CWASA 給水施設の概要
- 3-5 CWASA による給水施設の運転・維持管理
- 3-6 CWASA による無収水削減対策
- 3-7 CWASA の研修・人材育成体制
- 3-8 機材の保有状況と必要性
- 3-9 他援助機関による CWASA への当該分野の協力状況
- 3-10 関連事業の成果及び本プロジェクトとの関連性
- 3-11 バングラデシュ国における当該分野の類似案件と教訓
- 3-12 DX 技術活用可能性
- 3-13 気候変動リスクとプロジェクトに与える影響

第4章 プロジェクトの計画概要（評価分析団員作成）

- 4-1 プロジェクトの計画策定における基本方針
- 4-2 プロジェクトの概要
- 4-3 プロジェクトの内容
 - 4-3-1 上位目標・プロジェクト目標
 - 4-3-2 成果と活動
 - 4-3-3 想定される指標
 - 4-3-4 投入計画
 - 4-3-5 運営実施体制
 - 4-3-6 外部条件・前提条件・リスク分析
 - 4-3-7 モニタリングと評価
- 4-4 プロジェクト実施上の留意点

第5章 プロジェクトの事前評価（六項目評価）（評価分析団員作成）

- 5-1 妥当性
 - 5-1-1 バングラデシュ国政府の政策との適合性
 - 5-1-2 ニーズとの整合性
 - 5-1-3 手段としての適切性
- 5-2 整合性

- 5-2-1 日本の対バングラデシュ援助政策との整合性
- 5-2-2 JICA 事業・他援助機関協力との相乗効果
- 5-3 有効性
 - 5-3-1 計画の論理性
 - 5-3-2 プロジェクトの有効性に対する外部条件及び主なリスク
- 5-4 効率性
 - 5-4-1 プロジェクト・マネジメント
 - 5-4-2 投入・活動
 - 5-4-3 他援助機関案件との協力連携
 - 5-4-4 ローカルリソースの活用
 - 5-4-5 既往事業の成果の活用
- 5-5 インパクト
 - 5-5-1 上位目標達成の見込み
 - 5-5-2 その他に期待される正のインパクト
 - 5-5-3 負のインパクト
- 5-6 持続性
 - 5-6-1 政策・制度面
 - 5-6-2 組織・財政面
 - 5-6-3 技術面